

平成 24 年 3 月
福岡野球審判協会

フレッシュリーグ保護者審判講習会マニュアル

平成 24 年 4 月から行われるフレッシュリーグ北部地区連盟の保護者審判を対象に審判講習会手順等【マニュアル】を定めたものです。

大きく変更をしている部分がありますので熟読してしっかり判定できるよう頑張りましょう！

【変更点】

フレッシュリーグ北部地区連盟は、安全安心の観点から独自の審判フォーメーションでフレッシュリーグだけの試合を行ってきました。

しかし、最近では全国大会、九州大会、交流大会など多くの他の連盟との交流試合が盛んに行われるようになって不都合が生じていました。

従来のフレッシュリーグ北部地区連盟独自の審判フォーメーションでは他の連盟との交互の審判をすることができなく、平成 24 年 4 月より全国で行われている 4 人制フォーメーションを使用することがフレッシュリーグ北部地区連盟で決定しました。

よって、今までと大きく変わる変更点は、次の 5 つです。

- ① 走者が出た場合に、2 塁審判が内野に位置する。
- ② 走者がいなく、2 塁審判が内野の外に位置した場合で、長打で 2 塁審判が打球を追った場合には 3 塁審判が 2 塁のカバーに行き、球審が 3 塁のカバーに動いた場合は、1 塁審判は本塁に動く。
- ③ 1 塁審判は打者と一緒に 2 塁には行かないで、打者走者の 1 塁触塁を見て、本塁に向かう準備を行う。
- ④ 2 塁審判が内野に位置した場合は、中堅手を基準に外野の飛球等は 1 塁、3 塁の審判が判定を行う。
- ⑤ 1 塁又は 3 塁の審判が打球を追った場合は、2 塁審判は空いている塁をカバーする。

【4 人制審判の取り決め事項】

① ポジショニング

- ・ 無走者、走者三塁のときは、2 塁審判は、2 塁ベース後方に位置します。

- ・ 上記以外の時は、2 塁審判は内野に位置しますが、内野手が前進守備をしてプレイの妨げになると思われるときは、外側に位置することもあります。
- ・ 1 塁審判、3 塁審判はファールラインをまたいで立ちます。

②外野への打球の責任範囲

- ・ 外野への打球を追う審判は、角度をとりながら落下点に近づき、必ず止まって判定します。
- ・ 2 塁審判が内野の外側に位置した場合は、左翼手から右翼手までの外野の飛球はすべて 2 塁審判が判定します。ただし、左翼手から左翼線までは 3 塁審判が、右翼手から右翼線までは 1 塁審判が判定します。
- ・ 2 塁審判が内野に位置した場合は、中堅手を基準に、左翼線までの外野の飛球は 3 塁審判が、右翼線までの外野の飛球は 1 塁審判が判定します。
- ・ 4 人制審判の場合は、打球を追った審判員は、打球を判定した後プレイが一段落するまで基本的にその場にとどまります。
- ・ 打球を追わない審判員は、必ずベースカバーを行います。

③ 1 塁審判の基本動作

- ・ 走者がいないときは、ベースより 7～8 メートルの位置で両足側面にこぶしを軽く添えて立ち、内野手の送球と 90 度の位置に移動して 1 塁の判定をします。
- ・ 右翼手からのライトゴロについては、コーチャーボックス付近に移動して判定します。
- ・ 走者が 1 塁に出たら、ベースより 3 メートルの位置に移動して牽制球に備えます。
- ・ 走者がいない場合で、右翼手より右翼線上に飛球が飛んだときは、なるべくラインをまたいで判定をします。
- ・ 走者がいて、2 塁審判が内野に位置した場合は、中堅手を基準に右翼線までの外野の飛球を判定するため、打球を見ながら素早く角度をとりながら移動して判定します。
- ・ 外野の飛球を安打と判定した後は、その場に留まります。
- ・ 2 塁審判が左翼手から右翼手の打球を追った場合で、球審が 3 塁に動いた場合は、打者の 1 塁の触塁を確認し、すみやかに本塁のカバーに行きます。

④ 2 塁審判の基本動作

- ・ 走者がいない、又は走者が 3 塁のみの場合、もしくは、走者がいて内野が前進守備の体型をとった場合、一塁と二塁を結ぶ延長線上又は、三塁と二塁の延長線上に位置し、左翼手から右翼手までの外野の飛球の判定を行います。

【内野の外に位置した場合】

- ・ 右翼線付近に打球が行き、1 塁審判が打球を追った場合は、内野に切れ込み 1 塁と二塁のプレイに備えます。
- ・ 左翼線付近に打球が行き、3 塁審判が打球を追った場合は、内野に切れ込み 2 塁と 3 塁のプレイに備えます。

【内野の中に移動した場合】

- ・ 走者が出た場合は、すばやく内野に位置（ベースから 5～6 メートル離れた 3 塁又は 1 塁の方向で、2 塁から 3 塁又は 1 塁を結んだ延長線上の 1.5 メートル前）し、1 塁審判が打球を追った場合は、1 塁と 2 塁のプレイに備えるためマウンド付近にステップバックします。
- ・ 走者がいて、3 塁審判が打球を追った場合は、2 塁と 3 塁のプレイに備えるためマウンド付近にステップバックします。
- ・ 常に内野に位置するか外野に移動するかを他の審判にアピールして、判定の責任範囲を明確にします。
- ・ 内野に位置した場合は、外野の飛球は一切判定しません。

⑤ 3 塁審判の基本動作

- ・ 走者がいないときは、ベースより 7～8 メートルの場所に位置し、両足側面にこぶしを軽く添えて立ち、左翼手から右翼手までの外野の飛球をみて 2 塁のカバーに向かいます。
- ・ 左翼手から左翼線までの判定は、3 塁審判が行うので、素早くピボットターンして素早くライン上を走りフェアかファールの判定を行います。
- ・ 走者が 1・2 塁の場合は、ベースから 5 メートルの位置に移動し、ラインをまたいで LOOK（セットポジション）の姿勢で次にプレイを待ちます。
- ・ 無死、1 死で走者が 3 塁にいる場合は、2 塁審判の位置を確認し、内野の外に移動した場合は、ベースより 3 メートルの位置に移動し、牽制球、その他のプレイに備えます。また、打球が左翼手から右翼線方向に上がったなら三塁ベースと捕球する外野手の一直線上に移動し、LOOK（セットポジション）の姿勢でタッチアップの判定に備えます。もし、打球を追ってしまった場合は、タッチアップの確認要請（アピール）が来てもコールせずに球審を指差しましょう！
- ・ 走者が 3 塁にいても 2 塁審判員が内野の中にいる場合は、タッチアップに行かず左翼線から中堅手までの判定を行います。
- ・ 2 塁審判が内野の外に移動した場合は、左翼手から左翼線までの打球以外は、タッチアップに行きます。

【各塁審判の共通事項】

- ・ フォースプレイについては、あまり近くに寄らず、6～7メートル離れた位置で、送球と90度の角度で判定しましょう。
- ・ タッグプレイ（タッチプレイ）については、ボールを目で追いながらプレイに近づいて見ましょう。特に、ボールを保持しているかどうかを良く見て大きな声でコールしましょう。
- ・ 2塁から3塁、1塁から2塁のタッチアップもあるので、3塁審判以外も油断せず、次のプレイを考えておきましょう。
- ・ 内野手が触る位置までは球審が判断しますが、ベースの横を抜ける打球、内野手の上を越える打球、外野手前のショートバウンド等は塁審判が判定します。
- ・ 内野手の飛球、ライナーは球審が判定します。（球審の補助をしましょう）
- ・ ボールから目を離さず、空いている塁の走者の触塁、自分の責任範囲の触塁は必ず見ましょう
- ・ タイムは同調しましょう
- ・ セーフは早く、アウトは確保してからゆっくり行いましょう
- ・ 攻守交替は全速で大声を出して行いましょう
- ・ 投手板を履くタイミングは、攻守交代時に行いましょう。特に、1塁や3塁の塁審判は、ベンチの追い出しを行うため、臨機応変に空いた審判員が行いましょう

【講習会を始める前に】

- ・ 服装を整えた後に軽くランニング又はストレッチ
- ・ 準備運動（両手を広げ、体操ができる間隔をとって体操又はストレッチを行う。）を行います。
- ・ ジェスチャーの基本（走りながらのジャッジはしないようにしましょう！
(GO,STOP,CALL)

(1) アウト

LOOK（セットポジション）の姿勢から一連の動作（膝を伸ばしながら立ち上がる動作）で立ち上がりながら、右ひじを肩の高さまで上げ、そのまま手を伸ばします。

じゃんけんのグーみたいにこぶしを握り、アウトとコールし、再びLOOK（セットポジション）の姿勢をとります。

(2) セーフ・フェア

LOOK（セットポジション）の姿勢から一連の動作（膝を伸ばしながら立ち上がる動作）で立ち上がりながら、両腕を体の前面の肩の高さで止めます。

セーフのコールとともに両腕を水平に広げます。

(3) ファールボール・タイム

LOOK (セットポジション) の姿勢から一連の動作 (膝を伸ばしながら立ち上がる動作) で立ち上がりながら、両手を頭と肩の中間 (45 度くらい) に上げ、手を伸ばしコールします。

【審判の心得】

- ・ 審判の前日の暴飲暴食は慎み、万全の体調で臨むようにしましょう
(試合中に体調不良になった場合は、球審に直に届けましょう)
- ・ 試合開始 15 分前には着替えて本部席に集まり、球審との打ち合わせを念入りに行いましょう
- ・ 試合終了後にも球審、他の塁審と反省会に必ず参加しましょう
- ・ 試合中は絶対ボールから目を離さない
- ・ 邪念を入れず見たまま判定する
- ・ ジャッジの埋め合わせは絶対に行わない
- ・ 基本を旨とし、臨機応変に動くこと
- ・ 試合中は身体の前に手を組んだり、後ろに組んだり腰に手をあてない
- ・ 試合前、試合中はベンチ、選手との会話は慎む
- ・ グランド内は機敏な行動をとる
- ・ きちっとした連盟で決められた服装で行う

以上を守って、フレッシュリーグ北部地区連盟の審判員として積極的に試合に参加しましょう！

我が審判協会には多くのフレッシュリーグ出身の審判員がいます。

興味がある方、将来審判員になってみたい人などはお近くの審判協会審判員 (試合の球審) にお声をかけてください。

多くの保護者審判員をお待ちしています。